

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1455
施設名	クローバーこども園
施設所在地	墨田区八広1-16-22
法人名	社会福祉法人愛理会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

墨田の自然に触れて探索活動を楽しみ虫への興味をもつ

<テーマの設定理由> (テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

墨田区の地域の自然に触れ、探索し、自然への愛着を覚える。

一緒になって虫を捕るなど協力して行動し達成感を覚える。

互いが協同する、共感する、共同する事を体験する。

2. 活動スケジュール

9月12日(木) 関山講師と保育士との打ち合わせ

10月10日(木) 5歳児の活動 荒川土手

11月7日(木) 5歳児の活動 荒川土手

11月28日(木) 4歳児5歳児の活動 東白髭公園

12月5日(木) 4歳児5歳児の活動 東白髭公園

1月15日(水) 4歳児5歳児の活動 東白髭公園

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

虫探し→虫かご、虫網、図鑑、虫メガネ、キッチンバック

土手のジオラマ作成→ダンボール、マジック、絵具、絵具筆、紙粘土、木工ボンド

ガムテープ

土手の地図作成→模造紙、マジック、絵の部、絵具筆、のり、鉛筆、消しゴム、

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

10月10日(木) 5歳児が荒川土手に行き自然の中で虫探し

11月7日(木) 5歳児が荒川土手に行き自然の中で虫探し

11月28日(木) 4歳児5歳児が東白髭公園へ行き自然野中で探索、採集遊び

12月5日(木) 4歳児5歳児が東白髭公園へ行き自然野中で探索、採集遊び

1月15日(水) 4歳児5歳児が東白髭公園へ行き自然野中で探索、採集遊び

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・虫の発見を楽しむ。
- ・虫をより知ろうと興味をもっていた
- ・図鑑で調べて虫の名前を知っていた。→実際に捕まえてみよう。
- ・カマキリ、バッタ→種族の名前を言いながら捕まえることを楽しんでた。
- ・自分でわからなくても、図鑑を見たり、友だちに聞いたりしながら楽しんでた。
- ・土手へ向かう道中でも虫や花など、自然の物を探して見つけることを楽しんでた。
- ・前回のことを思い出したり期待したりしながら歩いていた。
- ・子どもたちが「発見する目」になっていた。
- ・『虫をつかまえたよ』『観察するの面白いね』と話をしていた。
- ・遊んだ後に虫の絵を描いたり。とても虫をより知ろうと興味をもっていた
- ・土手に行ってから土手のジオラマや模造紙にマップを描いたのを見せる
- ・虫がいるかもと自分ので木登りを楽しんでた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・荒川は資源が豊富。
- ・捕まえた虫を飼いたいという声が上がリ、飼育をした。
結果→カゴの中にいろいろな種類の虫がいたので、虫が亡くなってしまった。
→虫がいた場所に埋めてあげることで、命を扱う大切さと難しさを経験した。
→まだ次の機会では生きていたコオロギもその場で逃がしていった。
- ・坂道のところから大きな広場へと変えたことでも、子どもたちの行動が変化していた。
→原っぱの広場で思いっきり走る・動く・友だちと集団遊びをする
- ・子どもたちがどんどん移り変わり、「いいことみつけた」と遊んでいた。
- ・すくわく活動をとおして保護者が保育を知るドキュメンテーションになる。
→説明されて理解できる・感じられる、子どもたちの楽しさを知る。
- ・子どもの今日楽しかったことをどのように続けられるか、園全体で考えていく
- ・伝えていく事で、文化として根付いていく。
- ・園全体でよいと思うことを進めていく。